

【特集】 県内主要発注企業外注ニーズ調査結果

「半導体」「一般機器」が多忙で、今期も多忙を予測

当センター(取引支援課)は、次のとおり「外注ニーズ調査」を実施しました。受注活動の参考にしていただくため、以下に調査結果の概要をお知らせします。これによると、前年度に比べ「半導体」「一般機器」を中心に多忙となっており、外注金額全体も増加しています。

なお、後半に記載の「発注案件」の詳しい内容をお知りになりたい場合は、当課にお問い合わせください。

調査について	目的	県内主要発注企業の外注状況及び下請企業に対する技術・加工等のニーズを把握し、下請取引紹介あつせんの円滑化に資すること。
	対象企業	県内所在の発注を主とする登録企業 117社
	調査方法	調査対象企業を訪問してのヒアリング調査
	調査時点	平成16年2月

生産状況

(1) 現況

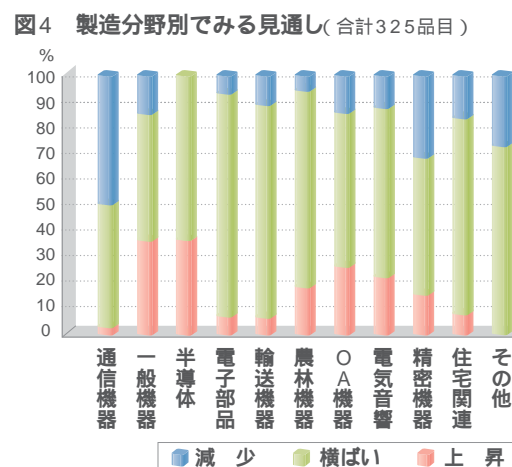
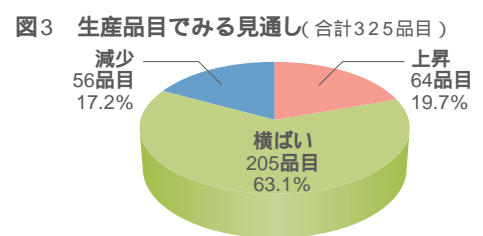
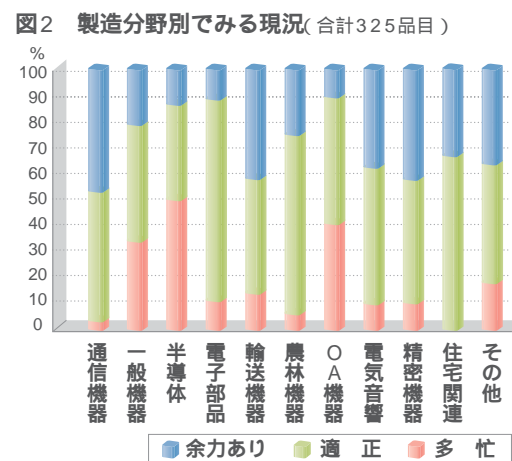
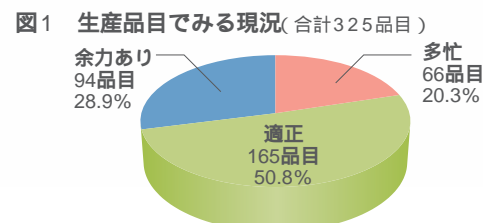
回答企業数117社の生産状況を生産品目総数325品目についてみると「多忙」とする品目が66品目で20.3%(前年度31品目8.8%)、「適正」が165品目で50.8%(同165品目で47.0%)、「余力あり」が94品目で28.9%(同155品目44.2%)である。前年度と比べ「多忙」が11.5%増加し、「余力あり」が13.3%減少しており、全体としては上向いている。(図1)

これを製造分野別に割合をみると、「多忙」は半導体の50.0%(同0.0%)で最も高く、次いでOA機器が40.7%(前年度41.7%)である。「適正」は電子部品が77.8%(同71.4%)、農林機器が68.8%(同29.4%)、住宅関連が66.7%(同66.7%)である。「余力あり」は、通信機器が47.1%(同62.5%)で最も高く、次いで精密機器が42.1%(同56.5%)、輸送機器が41.9%(同50.0%)であり、半導体の多忙が顕著である。(図2)

(2) 見通し

今後の見通しを生産品目総数325品目についてみると、「上昇」が64品目19.7%(前年度43品目12.3%)、「横ばい」が205品目63.1%(同206品目58.7%)、「減少」が56品目17.2%(同102品目29.1%)である。前年度と比較して「上昇」が21品目で7.4%上昇、「横ばい」が1品目減少で4.4%上昇、「減少」が46品目で11.9%減少であり、ここでも全体としては上向いている。(図3)

これを製造分野別でみると、「上昇」は一般機器が36.5%(同20.6%)で最も高く、次いで半導体が36.4%(同20.0%)、OA機器が25.9%(同19.4%)である。「横ばい」は電子部品の85.2%(同71.4%)が最も高く、次いで輸送機器の81.4%(同70.0%)である。「減少」は通信機器が50.0%(同55.0%)で最も高く、次いで精密機器の31.6%(同34.8%)である。(図4)



外注状況

(1) 外注企業数

回答企業117社が外注している企業の数(延べ)は3,289社あり、これを県内外別で見ると、「県内」が38.9%(前年度40.2%)、「県外」が61.1%(同59.8%)であり、これまでどおり「県外」が20%ほど高い。(図5)

これを製造分野別にみると、企業数の多い順に、一般機器が749社(うち県内283社/37.8%)、輸送機器415社(うち県内147社/35.4%)、通信機器390社(うち県内125社/32.1%)、電気音響333社(うち県内187社/56.2%)、電子部品326社(うち県内125社/38.3%)となっている。(図6)

(2) 外注金額

回答企業117社の1年間での外注総額は、3,198億8,548万円(前年度は114社で1,507億839万円)である。

これを県内外別に見ると、「県内」694億3,065万円21.7%(同601億9,121万円39.9%)、「県外」は2,504億5,483万円78.3%(前年度905億1,718万円60.1%)であり、前年度に比べ「県内」は、割合が大きく減少している。(図7)

(\* 前年度と比較して外注総額及び県外外注金額が大きく増加した理由は、発注企業の1社が材料を無償支給から有償支給に切り替えたためである。)

これを製造分野別にみると、「県内」が高い製造分野は、半導体の89.3%(同91.9%)、農林機器76.5%(同59.8%)、住宅関連56.8%(同56.3%)である。「県外」が高い製造分野は、輸送機器の91.1%(同72.8%)、一般機器が89.1%(同87.9%)、OA機器の85.5%(同84.9%)である。(図8)

外注している加工内容

回答企業117社が外注している加工内容を見ると、「メッキ」が80社71.8%と最も高く、次いで「旋盤切削」の65社53.8%、「樹脂200t未満」61社52.1%である。(図9)

これを県内外別で見ると、県内は「製缶・鉄骨」が66.7%で最も高く、次いで「平面研削」の65.0%、「アルミ鋳造」が64.3%である。県外は「冷間鍛造」が100.0%、次いで「ステンレス鋳造」「ゴムライニング」「粉末冶金」がいずれも83.3%である。(図10)

図5 県内外別外注企業数(合計3,289社)

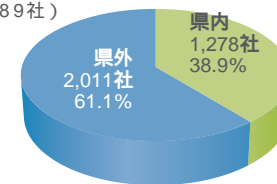


図6 製造分野別外注企業数/県内外別状況(合計3,289社)

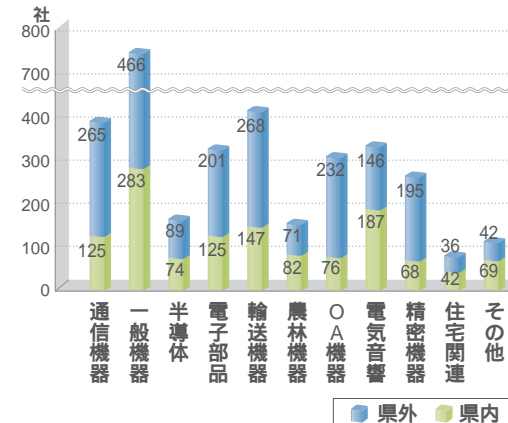


図7 県内外別外注金額(合計3,199億円)

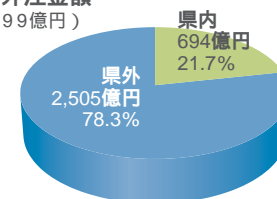


図8 製造分野別外注金額の割合(合計3,199億円)

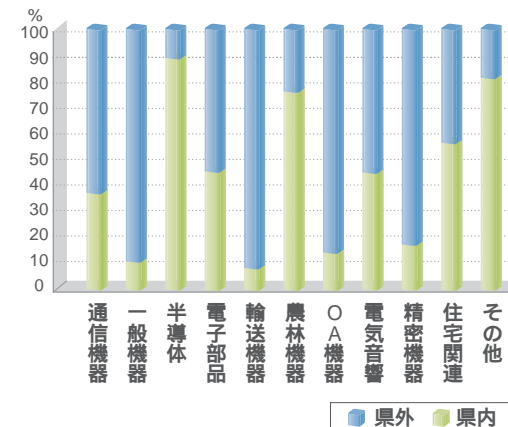


図9 加工内容別外注割合

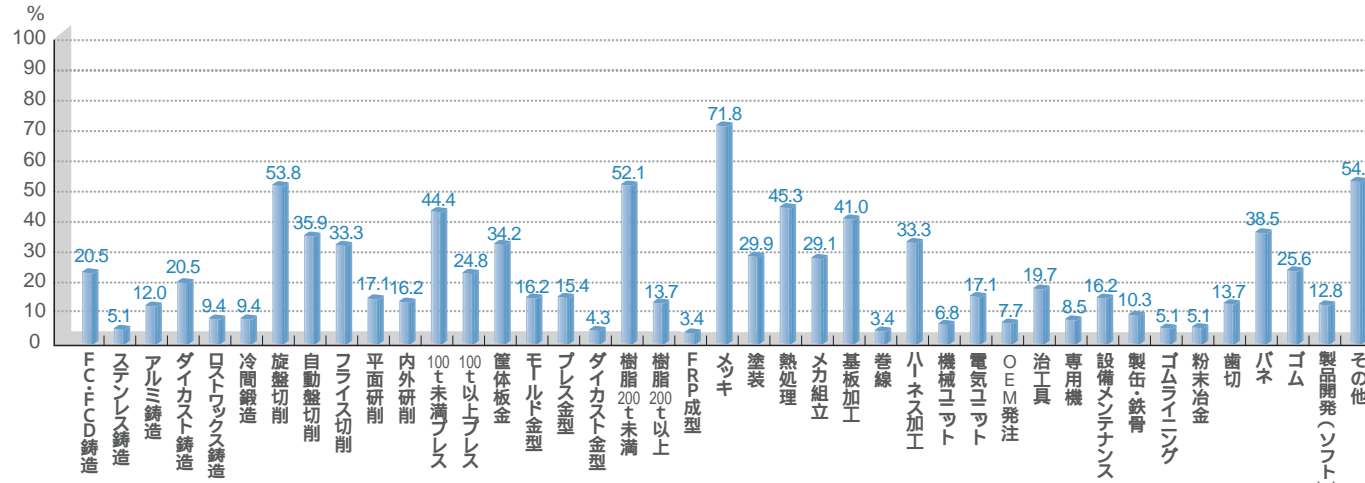
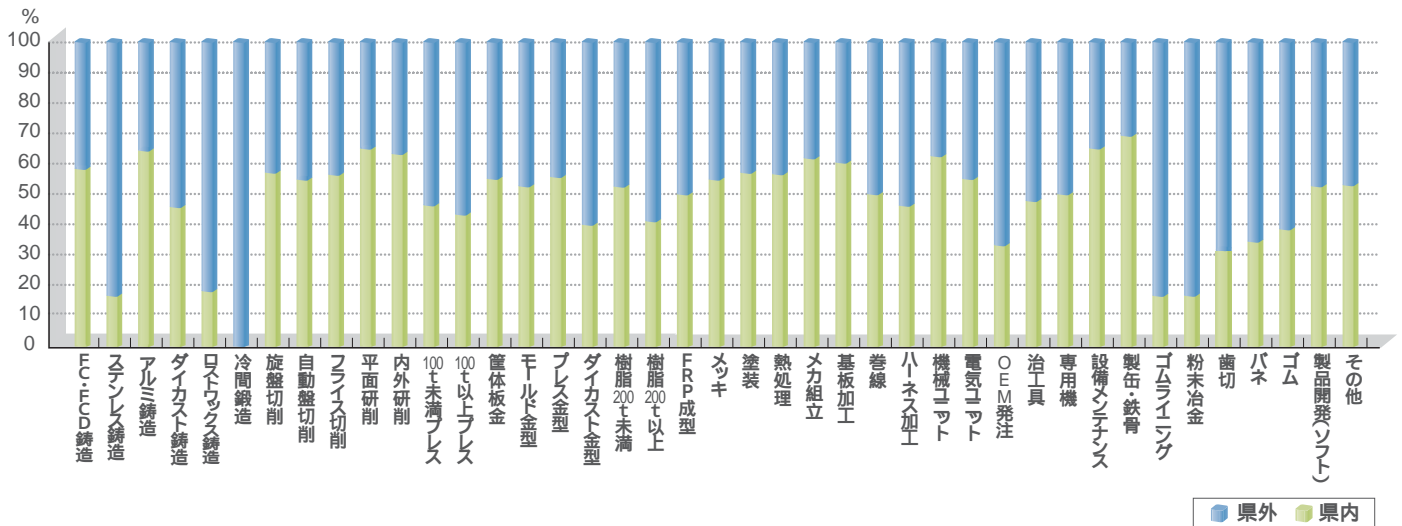


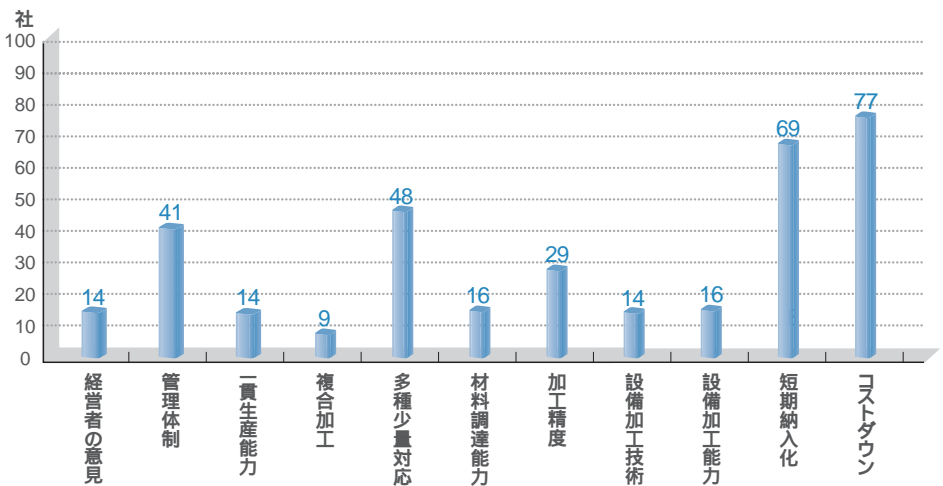
図10 加工内容別県内外企業割合



## 県内外注企業に対する要望

県内発注企業の県内受注企業に対する要望は、「コストダウンへの対応力」が77社(65.8%)、「短納期化への対応力」が69社(59.0%)、「多種少量生産への対応力」48社(41.0%)が上位3項目であり、以下「管理体制のレベル」41社(35.0%)、「加工精度」29社(24.8%)となっている。(図11)

図11 外注企業に対する要望(複数回答)



## 発注案件

対象企業に対し発注案件について質問したところ、「現在、県内企業に発注することが可能な案件」、「今後新たに生じる発注案件」に分けて次のとおりとなっている。

### (1) 現在、県内企業に発注することが可能な案件

- ・ 製缶・鉄骨
- ・ 板金加工
- ・ 試作板金加工
- ・ 板金塗装、鋳造品の機械加工、内外径研削加工
- ・ タレパン、レーザー加工
- ・ プレス加工(400t以上)
- ・ 砲金鋳物
- ・ 鋳物製品のバリ取り
- ・ 精密機械加工
- ・ 超精密機械加工
- ・ 大型の機械加工(3社)
- ・ 切削、研削、表面処理他
- ・ 切削・研削・ワイヤー放電加工(一貫対応)
- ・ 鋳造品のマシニング加工、内外径研削加工

- ・ マシニング、ジグ研削加工
- ・ フライス、マシニング、研削、板金加工
- ・ 穴あけ、平面研削、レーザー加工
- ・ パフ研磨・ダイカスト
- ・ 熱処理、ブロー成形
- ・ 大型プレス金型
- ・ 治工具(ミクロン台の精度が必要)
- ・ 部品加工～完成品組立(2社)
- ・ 完成品組立(材料自己調達～完成品まで低コストで一貫生産対応)
- ・ ハーネスの加工(材料100%自己調達)
- ・ 編立(原糸を編地、テキスタイルに変える)
- ・ セラミックのパターン印刷

### (2) 今後、新たに生じる発注案件

- ・ 板金、プレス加工
- ・ 板金(溶接込み)
- ・ プレス、抵抗溶接、めっき
- ・ スポット溶接、アーク溶接
- ・ 切削、ゴム成形、めっき、ハーネス加工
- ・ 大型の機械粗加工
- ・ 治工具
- ・ 樹脂成形
- ・ プラスチック成形、アルミダイカスト、印刷
- ・ ゴム加工全般
- ・ 特殊加工(プリント、刺繍)

お問合わせ先

取引支援課

TEL 019-621-5385 FAX 019-624-5480

URL <http://www.joho-iwate.or.jp/torihiki/> E-mail [sitauke@joho-iwate.or.jp](mailto:sitauke@joho-iwate.or.jp)